

令和3年度「京丹後市いじめ調査（1回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施8名

【小1・小3：各1名、小5：2名、小6：3名、中2：1名】

(2) 家庭訪問での実施：13名

【小6：2名、中1：2名、中2：5名、中3：4名】

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2344	1324
調査児童生徒数(人)	2337	1323
未調査児童生徒数(人)	7	1
実施率(%)	99.7	99.9

2 認知と解消について

(1) 認知件数と未解消

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	33	59	49	20	30	15	206	10	7	1	18		
	女子	38	36	39	20	23	10	166	5	2	3	10		
	合計	71	95	88	40	53	25	372	15	9	4	28	9,108	954
未 解 消	A要指導	5	7	0	0	4	0	16	0	0	0	0	1,338	113
	B要支援	4	11	15	4	2	1	37	1	0	0	1	1,183	145
	C見守り	62	74	68	36	47	24	311	14	9	4	27	6,325	651
解消	0	3	5	0	0	0	8	0	0	0	0	262	56	

A: 行為止んでおらず被害者の苦痛あり

B: 行為止んでいるが苦痛あり

C: 行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市すべての小・中学校で、いじめを認知している。

イ 未解消A要指導件数：小学校16件（R2同調査比±0件）、中学校0件（R2同調査比±0件）

未解消B要支援件数：小学校37件（R2同調査比+25件）、中学校1件（R2同調査比-2件）

ウ いじめ事象：中学校1件

(2) 認知率

認知率	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	市小学校	府小学校	中学1年	中学2年	中学3年	市中学校	府中学校
平成29年度	38.3%	26.7%	24.9%	20.2%	14.2%	6.8%	21.2%	21.5%	4.8%	3.1%	0.7%	2.8%	4.3%
平成30年度	24.4%	29.9%	21.1%	20.2%	13.0%	5.9%	18.6%	20.4%	5.0%	3.5%	0.8%	3.0%	3.8%
令和元年度	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	17.2%	18.6%	4.0%	3.9%	1.5%	3.1%	4.0%
令和2年度	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	14.9%	13.5%	3.9%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%
令和3年度	18.0%	24.5%	22.4%	10.4%	14.5%	6.1%	15.9%	15.7%	3.4%	2.1%	0.9%	2.1%	3.2%

ア 平成29年度以降の1回目調査の認知率をみると、小学校は、令和2年度よりは高いが、2番目に低く、中学校は最も低い認知率となっている。

イ 京都府との比較では、小学校ではやや高く、中学校は低い数値である。

ウ 同一学年を昨年度と比較すると、小学3年（小2：17%⇒小3：22.4%）以外は減少している。

(3) 解消について（令和2年度）

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	
1回目	認知件数	103	67	43	74	45	26	358	17	11	6	34	
	解消率	100%	94%	95%	92%	93%	73%	94%	94%	91%	50%	85%	
2回目	認知件数	124	67	45	62	28	24	350	10	15	3	28	
	解消率	91%	94%	98%	90%	89%	92%	93%	90%	100%	100%	96%	
3回目	認知件数	80	51	36	45	18	18	248	6	5	2	13	
	解消率	91%	94%	89%	82%	94%	95%	91%	83%	100%		92%	
	未 解 消 件 数	A要指導	2	2	3	4	0	0	11	0	0		0
		B要支援	1	0	0	1	1	0	3	1	0		1
C見守り		4	1	1	3	0	0	9	0	0		0	

ア A 要指導の 11 件は、指導により一旦いじめ行為は病んでいるものの、3 か月以内に同様の行為がくりかえされることにより未解消となっている事例である。

イ すべての認知件数において聞き取り調査及び指導を行うだけでなく、児童生徒の気持ちが安定するまで、3 か月を経た後も支援・見守りを継続し解消に向けて取組を進めることが重要と考えている。

(3) 態様の状況について

いじめの態様	小学校					中学校				
	令和2年度		令和3年度			令和2年度		令和3年度		
	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合
①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	218	45.2%	224	40.6%	39.0%	23	53.5%	18	46.2%	51.8%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	57	11.8%	54	9.8%	13.0%	4	9.3%	3	7.7%	10.0%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	100	20.7%	104	18.8%	18.5%	4	9.3%	5	12.8%	14.2%
④ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。	44	9.1%	54	9.8%	8.1%	4	9.3%	3	7.7%	4.3%
⑤金品をたかられる。	11	2.3%	12	2.2%	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0.7%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	17	3.5%	31	5.6%	4.1%	2	4.7%	1	2.6%	2.7%
⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	30	6.2%	67	12.1%	8.6%	2	4.7%	5	12.8%	5.8%
⑧パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	3	0.6%	5	0.9%	1.7%	4	9.3%	2	5.1%	4.6%
⑨その他	2	0.4%	1	0.2%	5.1%	0	0.0%	2	5.1%	5.9%
合計	482		552			43		39		

ア 態様件数の変化

(ア) 令和2年度同調査と比較をすると小学校で70件増加、中学校で4件減少している。

イ 態様項目等について

(ア) 小中学校とも、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様の全体に占める割合が4割以上と最も高い。

(イ) 上位2項目は京都府と同様であるが、3項目目（中学は同率2項目目）は昨年度本市において上位になかった「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。」が小中学校ともにあがっている。

(ウ) SNSに関する項目の内容としては、オンラインゲームやモバイルメッセージアプリでのトラブルが小中学校ともわずかながらあげられている。また、小学校でSNSに関する件数が3件から5件と微増している。

3 重大事態について

1回目調査、および本日までにおける「重大事態」はない。